

浜学園	5年							
	算数							
学習内容	8月の学習内容 No.21 日暦算 No.22 速さ(1) No.23 速さ(2) No.24 速さ(3)							
家庭学習ポイント	No21 「日暦算」は苦手とするお子さんの多い単元です。「-1」「+1」など公式の丸覚えにならないよう注意が必要です。つねに具体的、身近な例に戻って、たとえば「明日は今日の1日後だから、『～日後』はその日の日付にそのまま1を足す」「明日は今日から数えて2日目だから、『～日目』の計算では1を引いた数字足す」といった具合です。少し立ち止まって上記のように考える習慣がつくだけで、ケアレスミスはグンとなくなります。ぜひ実行してみてください。No22からは速さの学習に入ります。No22では速さの単位変換（秒速⇔分速⇔時速）や基本的な旅人算の問題～追いつく、出会うなど～を学習します。No23では比を使って速さの問題を考えます。比を使うと煩雑な計算がぐっと楽になりますね。今後積極的に速さの問題を比で考えることで、正答率を上げていくことができます。また平均の速さについても学習します。No24では通過算、流水算を扱います。通過算ではすれ違ったり追い越す列車の図（絵ですね）をしっかりと書くこと、流水算では「上りの速さ・下りの速さ・静水乗の速さ・流速」を必ず書き出して解くのが「定番」です。							
課題の把握と解決策	チェック1	日暦算の「+1」「-1」をあやふやなまま使っていませんか？						チェック
	解決策	上記のように「明日は今日の1日後だから・・・」と具体的、身近な例に落とし込みましょう						□
	チェック2	速さの単位変換が正確にできていますか？						チェック
	解決策	速さの意味（単位時間あたりに進む距離）を正しく理解することが何よりもミス防止になります						□
	チェック3	出会う旅人算は速さの和、追い越す旅人算は速さの差で考える理由がはっきりわかっていますか？						チェック
	解決策	はじめは、たとえば近づくようすを1分ごとに書いてみるなどして確かめてみましょう						□
	チェック4	速さの問題を比で考えると楽に解ける、と感じていますか？						チェック
	解決策	「こっちを使ったほうが速くて楽でわかりやすい」と感じているならOKです						□
	チェック5	流水算では「上りの速さ・下りの速さ・静水乗の速さ・流速」を書いていますか？						チェック
	解決策	「書かなくてもできる」と端折ることがミス（＝失点）の最大の原因です						□
浜学園	5年							
	国語							
学習内容	8月の学習内容 文法（3） 文法（4） 文法（5） 文法（6）							
家庭学習ポイント	8月は文法の学習の1ヶ月です。様々な品詞について学習していきますが、注意すべきは活用する品詞（動詞・形容詞・形容動詞など）と活用しない品詞があるということです。「この本」「わが国」「 大きな 古時計」といった連体詞（すぐ下の名刺を修飾）を形容詞や副詞、形容動詞と間違わないように注意しなければなりません。連体詞のおもなものは覚えてしまってもいいですが、つねに「活用するかしないか」を判断基準にすると良いでしょう。品詞については、それぞれの具体例（実際に使用したときの例）を10個程度言えるようにしておくといいいでしょう。活用する品詞については「きれいな花」「きれいに片付ける」（言い切りの形は「きれいだ」：形容動詞）など活用した形をいろいろと考えてみてください。文法の参考書か辞書の見開きに載っている「活用表」を手元に置いて学習していくといいいですね。							
課題の把握と解決策	チェック1	品詞それぞれの性質を正しく説明できますか？						チェック
	解決策	活用する品詞については「言い切りの形」の共通点で仕分けるといいですね						□
	チェック2	形容詞と連体詞を混同していませんか？						チェック
	解決策	形容詞は活用（「大きい家」「大きく息を吐く」）し、連体詞は活用しません（「大きな家」）						□
	チェック3	副詞と連体詞を混同していませんか？						チェック
	解決策	副詞は動詞や形容詞（など名詞以外）を修飾し、連体詞は名詞を修飾します						□
	チェック4	文法の学習に苦手意識を持っていますか？						チェック
	解決策	まずは主な品詞についての知識をつけることが大切です						□
	チェック5	夏期講習＋平常授業の復習のサイクルがうまくまわっていますか？						チェック
	解決策	それぞれの学習時間の配分を工夫してみましょう						□

浜学園	5年							
	理科							
学習内容	8月の学習内容 No.21 「もののとけ方」 No.22 「水溶液のこさ」 No.23 「溶解度・濃度計算」 No.24 「気温の変化と湿度」							
家庭学習ポイント	No21 「もののとけ方」 から3回にわたり計算分野となります。小数第3位、4位までの計算がどんどん出てきますから「1問を解ききるまでの集中力」を意識して集中して計算しましょう。まずはホウ酸、食塩など、物質それぞれで温度による水へのとけ方の違い（その他ミョウバン、砂糖なども）があることをしっかり理解し、溶解度の表とグラフを見てみましょう。とけ方の違いによるグラフの違いなどが理解できたら、No22、23では本格的な計算に入ります。同じ濃度計算でも、算数なら（%になおしたときに）整数で答えが出る、あるいは割り切れなければ分数で答える問題が多いのに対し、理科の溶解度計算では小数第3位、第4位を四捨五入する問題が大多数です。小数計算でミスを連発すると「答えが合わない⇒モチベーションが下がる⇒苦手と決めつけてしまう」となってしまいがちです。解ききるまで、小数第3位、4位を正確に出すまで集中し続ける意識で計算に取り掛かりましょう。また解き始める前に「水温 水量 とける量」を書き出して整理することが非常に重要です。「書かなくてもわかりそう」という意識を捨てることが理科計算の正答率を上げる第一歩となります。No24からは気象単元に入ります。							
課題の把握と解決策	チェック1	食塩とホウ酸の、温度による水へのとけ方の違いを説明できますか？						チェック
	解決策	食塩は温度が変わってもとけ方があまり変わらず。ホウ酸は温度によって大きく変わります						□
	チェック2	四捨五入する位がいいかげんになっていませんか？						チェック
	解決策	%で「四捨五入で小数第1まで」を答えるときは小数では第3位まで答えるということですね						□
	チェック3	溶解度の計算の前に「水温 水量 とける量」を書き出して条件整理していますか？						チェック
	解決策	一見かんたんな問題でも端折らず「いつもどおり」にルーティンを実行することが大切です						□
	チェック4	溶解度計算で「やりかたはわかるのに正解できない」となっていませんか？						チェック
	解決策	計算する前に「1問を解ききるまで全集中」を意識してマインドセットをしましょう						□
	チェック5	湿度の意味が正確にわかっていますか？						チェック
	解決策	気温によって決まる「飽和水蒸気量」に対する実際の水蒸気量の割合（%）ですね						□
浜学園	5年							
	社会							
学習内容								
家庭学習ポイント								
課題の把握と解決策								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□